

資料2

令和5(2023)年10月19日 定例記者会見資料
所属 教育部 生涯学習課
氏名(課長) 佐原 勝美 電話 0287-37-5925

文部科学省「子供の体験活動推進宣言」への賛同及び市の取組について

那須塩原市教育委員会では、社会構造の急激な変化、新型コロナウイルス感染症の影響による子ども達の「リアルな体験」の不足について全力で取り組む決意を表明するため、文部科学省の「子供の体験活動推進宣言」に賛同し、子どもへの体験活動の提供を積極的に実施します。

■内容

文部科学省では、子ども達への豊かな体験活動の提供に官民一体となって取り組むため、令和4年6月に「子供の体験活動推進宣言」を公表しています。

本市においても、新型コロナウイルスの影響により、様々な体験活動の機会及びノウハウの喪失について憂慮しているところです。

本市には、自然体験のための環境が豊富にあります。その強みを活かし、様々な事業を開催するものです。

■関連事業スケジュール

9月27日(水)「子供の体験活動推進宣言」への賛同

10月15日(日) 令和5年度那須塩原子どもカレッジ～君だけのオリジナルピザをつくろう～開催

協力 ボーイスカウト那須塩原第2団、ガールスカウト栃木県第34団

11月11日(土) 令和5年度なすしおばら子どもフェスタ開催
宇都宮共和大学那須キャンパス

11月12日(日) 青少年健全育成講演会

宇都宮共和大学那須キャンパス 2階 大講義堂

テーマ 「体験活動の必要性と現代の若者～どんな体験が必要なのか～」

講師 廣瀬 隆人 氏 (一社) とちぎ市民協働研究会 代表理事

■取材ポイント

- 自治体としての賛同は、栃木県内初となります。
- 子ども達へ、本市の社会、文化及び自然を活かした「リアルな体験」を提供することにより、本市ならではの「自分らしくたくましく、未来を拓く人づくり」を行います



子供の体験活動推進宣言

次代の社会を担う者として新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力等を身に付けていくためにもリアルな体験活動は重要です。しかしながら、少子化や核家族化、デジタル化が進む中、現代の子供たちはリアルな体験が不足しています。さらにコロナ禍でこの傾向に拍車がかかり、また、家庭の経済環境によって体験機会に格差が生じているとの指摘もあります。今こそ、異年齢交流や職業体験、自然体験、ボランティア体験等、子供たちに豊かな体験機会を提供するため官民が一体となって取り組まねばなりません。

文部科学省は子供たちの体験活動を推進するため、経済界と連携して以下を目指した取組を進めます。

- 一、経済界の協力を得て、子供の体験活動の量的・質的な充実を目指します。
- 一、働く人が学校や地域の活動に参加しやすい環境づくりを目指します。
- 一、経済界との対話を促進し、体験活動における学校と地域・企業の連携体制の構築を目指します。



令和4年6月
文部科学大臣

末松 信介

自然 体験塾

わりばしゴムでっぽうで
あそぼう！

ボーイ スカウト

ぼうさい火おこし
たいけん

子ども会

なすしらばらの
子ども会って
どんなとこ？

*じ あ らじあ

秋のしぜん
かんさつかい

ガール スカウト

エコクラフトで
あそぼう！

青少年 センター

とちまるくんの
お誕生日を
お祝いしよう！

なすしらばら 子どもフェスタ

この日は、
とちまるくんの
お誕生日！

令和5年

11/11 土
9:30~15:00



とちまるくん、みるひいが
遊びに来るよ！



開催日時

会場

宇都宮共和国
那須キャンパス
まなび博覧会と同時開催

お問い合わせ先

那須塩原市生涯学習課青少年係
Tel.0287-37-5925

主催
那須塩原市子ども会育成会連絡協議会
共催
那須塩原市教育委員会
那須塩原市青少年健全育成市民会議

自然体験塾

わりばしゴムでつ
ぽうであそぼう!



シール
台紙

*じおらじお

秋のしぜん
かんさつ
かい



シール
台紙

ボーイスカウト

ぼうさい
火おこし
たいけん



シール
台紙

シールラリー 説明

子どもフェスタのブースであそぶと、
シールラリーだいしにみるひいの
シールを一つはってもらえます。

シールを3つ以上あつめると、素敵な景品がもらえるよ!
※定員のある体験ブースは早期に参加募集を締め切らせて
いただく場合があります。参加募集を締め切ったブース
については、シールのみのお渡しとなります。

当日はこのチラシを持って
シールラリーに参加してね!

シールラリーブース

宇都宮共和国大学
那須キャンパス

会場



ガールスカウト

エコクラ
フトであ
そぼう!



シール
台紙

子ども会

なすしおばらの子
ども会ってどんな
とこ?

シール
台紙

青少年センター

とちまるくんのお
たんじょうびをお
祝いしよう!

シール
台紙

体験活動の必要性と 現代の若者

～どんな体験が必要なのか～

小さい頃にたくさんの体験をした子はどんな大人になるのか？
講師が実例をもとに、語りつくします！

実際に地域づくりに携わった現役宇大生のゲストトークも
乞うご期待！



講師：廣瀬 隆人 氏
(一社)とちぎ市民協働研究会 代表理事



ゲストトーク：阿部 美扇さん
宇都宮大学共同教育学部2年

11.12
Sun
10:00～

日 時 令和5年11月12日(日) 10時開会(受付9時30分～)
※なすしおばら まなび博覧会と同日開催

会 場 宇都宮共和大学那須キャンパス 2階 大講義室

対 象 どなたでも(事前の申込みは必要ありません)

参加費 無料(定員150名)

主 催 那須塩原市教育委員会
那須塩原市青少年育成市民会議(少年指導員会)

講師紹介

廣瀬 隆人（ひろせ たかひと）氏

一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事

【専門】地域づくり、地域学、社会教育、学校と地域の連携、
地域福祉、人権教育など

1956年 北海道生まれ。

北海道教育庁生涯学習部文化課社会教育主事、国立教育会館社会教育研修所専門職員、宇都宮大学教授を歴任。

元栃木県教育委員長、元宇都宮市社会教育委員長。

現在、日本大学、帝京大学、栃木県衛生福祉大学校などの非常勤講師を務める傍ら、那須塩原市の地域づくりに関わり、地域学校協働活動推進員への講座を開催している。

自らの体験に基づいた、ユーモアあふれる語り口が人気。

【所属団体】

NPO法人プロジェクト宙 理事長

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ 副理事長

社会福祉法人蓬愛会 評議員



ゲストトーク

阿部 美扇（あべ みお）さん

宇都宮大学共同教育学部2年生

鹿沼市生まれ。

子どもたちが、自分たちでまちのルールを決め、やりたい仕事を選び、働いた給料で好きなものを買ったり、遊んだりできる体験イベント「ミニかぬま」に子どもスタッフとして参加し、現在は運営に関わる。



同時開催「なすしおばら まなび博覧会」

「こどもからおとなまで 学びの祭典！」

11/11(土)~12(日)にかけて、会場では「なすしおばら まなび博覧会」(なしお博)が開催されます。

小中学生や市文化協会などの作品展示、バラエティに富んだ体験ブース、飲食店など、誰でも楽しめるイベントです。

こちらもぜひお楽しみください。



なしお博の内容
はこちから

会場までのアクセス

会場内駐車場(約200台)をご利用ください。

なお、当日はなしお博も開催されており、混雑が予想されますので、波立小学校の臨時駐車場や那須塩原駅発(波立小経由)の無料シャトルバスもご利用ください。



問い合わせ

那須塩原市教育委員会事務局
生涯学習課

☎0287-37-5925